事例No.	1357
公表年度	R2
団体の属性	指定都市
団体名	神奈川県相模原市

事例区分	公共施設管理

タグ	・公共施設等総合管理計画 ・消防・防災 ・適切な資産管理

事例種類	長寿命化事業

事例内容・タイトル

準用河川姥川河床洗堀対策事業（護岸）

出典

自治体施設・インフラの老朽化対策・防災対策のための地方債活用の手引き（令和２年７月）

長寿命化事業（社会基盤施設）②

神奈川県相模原市（人口72．2万人） 準用河川姥川河床洗堀対策事業（護岸）

事業の概要

河川の流水作用による河床洗堀から、護岸の損傷を予防するため、床固めの設置等による河床洗堀対策事業を実施する。

事業のポイント

【課題】
頻発する大雨等による河床洗堀の進行により、基礎天端や基礎全体が露出し、対策が必要となっている。



（個別施設計画）
相模原市河川維持管理計画

事業実施期間：H30～R2年度
総事業費1.2億円

事業の効果

○ 交付税措置のある長寿命化事業に係る事業債の拡充により、市の財政負担の軽減が図られ、早期に対策が必要な重点箇所の積極的な事業実施が進められている。

○ 長寿命化計画に基づく予防保全型対策を計画的に実施することにより、河床洗堀における10年以上の長寿命化の効果と30年間で約5億円の事業費の軽減が見込まれる。